

# さとしゅう

議会だより

No.111

2023.1.31



岡山県 里庄町議会



夢に向かって(はたちの集い)

- 12月定例会 補正予算 ..... (2)
- 条例一部改正 ..... (3)
- 委員会研修 ..... (9)
- 町政を問う！(4人が登壇) ..... (11)
- シリーズ こんな活動をしています(文化協会 ちぎり絵部) ..... (16)

12月

# 定例会

令和4年第9回定例会は11月30日から12月8日までの会期で行われました。議案は、補正予算6件、条例の一部改正5件、人事案件1件、里庄町道路線の廃止・認定各1件、議員発議1件が上程され、すべて原案通り可決・同意されました。

補正予算は、予算決算委員会に、道路線の廃止・認定については、建設福祉委員会に付託され審査を行いました。

なお、一般質問には4人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

## 補正予算一般会計主な事業

**ふるさと納税返礼事務委託料**

5210万円

さらに、1億円の寄付が見込まれるための、返礼事務の委託料です。令和4年度の見込み額2億円を3億円に上方修正しました。

**道路新設改良工事請負費**

3500万円

里見229号線を東に延伸する町道里見716号線道路改良工事（2期分）費用です。

**障害福祉事業**

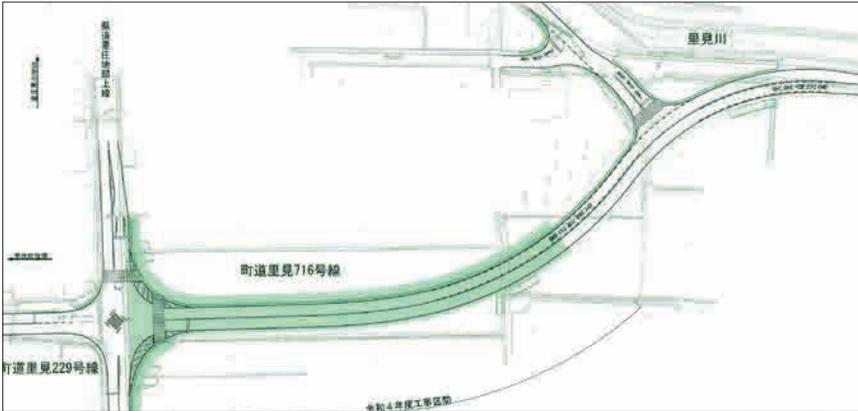
812万円

利用者の増加による、障害者自主支援医療公費負担額、就労継続支援給付費の増加分です。

**役場駐車場用地の測量設計費**

434万円

役場南の予定地で、面積3200㎡、105台分の予定です。



229号線延伸工事

**保育園施設給付事業**

2320万円

公定価格の見直し増加分です。

**児童発達支援事業**

1314万円

放課後デイサービスの利用者増加にともなう扶助費増加分です。

### 町道路線の廃止・認定

浜中北地区から西の平地区に渡る、矢形川一踏切の封鎖に伴い、新庄331号線の全長381mを新庄331号線として再認定するものです。



起点の変わった部分

線路際へ行く道は

**藤井議員** 廃止路線の起点は5914番地だが、認定は6103番地の1。その間は町道から外れるのか。

**農林建設課長** 今は5914番地はない。起点は全く同じ。

**高田議員** 終点のところは道路がなくなるということだが、線路際の土地には行く道はあるのか。

**農林建設課長** ある程度の幅は土手として残るので、通路としては今までどおり通れる。

### 定例会

## 町条例

### 一部改正

#### 里庄町課設置条例

町民課の税務担当を税務課として分課します。既設課の国土調査室は廃室となり、「まち整備課」を新設し、重点事業を、「駅バリアフリー化」を進めていくとしています。また、参事を増員し、組織強化を図ります。

#### 里庄町議会議員及び里庄町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

○選挙運動用自動車に係る公費負担額  
 ※選挙運動用自動車の借入  
 一日当たり16100円に  
 (告示日から、選挙期日の前日まで)

※選挙運動用自動車の燃料一日当たりの供給  
 7700円×選挙期日

の前日までの日数(一日当たりの上限はなし)

○選挙運動用ビラの作成  
 作成単価  
 町長選挙 5000枚  
 議員選挙 1600枚  
 7円73銭/枚  
 ○選挙用ポスターの作成  
 作成単価  
 1174円/枚  
 に、それぞれ引き上げられます。

#### 里庄町職員定数条例

町長部局職員を、10人増員し72人とします。全体で、101人となります。

#### 里庄町職員の給与に関する条例

○初任給  
 大卒程度 3000円  
 高卒者 4000円  
 引き上げます。

### ○号俸

30歳台半ばまでの号俸金額を引き上げます。平均改定率は、0.3%です。

### ○勤勉手当

令和4年12月に支給される支給月数を0.95月から1.05月に引き上げ改定され、令和5年度の支給月数は、6月1.0月、12月1.0月に改定されます。

## 人事

### 人権擁護委員

里庄町里見 定兼 美智子氏

### 里庄町営住宅管理条例

同居親族要件を廃止し、単身でも入居条件が合致していれば、入居の申請ができる事になります。

## 12月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	58億3693万円	(1億5695万円)
国民健康保険特別	10億8261万円	(5万円)
介護保険特別	12億2524万円	(321万円)
後期高齢者医療特別	1億8518万円	(△478万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億8550万円	(70万円)
資本的支出	1億2495万円	(4万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億9736万円	(7万円)
収益的支出	3億5158万円	(7万円)
資本的収入	2億7387万円	(1万円)
資本的支出	4億5723万円	(1万円)

12月定例会

# 質 疑

▼健康福祉課の分課判断はなかったのか  
▼職員定数10人増の説明を

条例関係で3人が、一般会計補正予算で1人が質疑しました。

## 課設置条例

### 町民課分課の事情は

**佐藤議員** 以前は町民課

と税務課は別になっていて、それを一緒にして、また今度分割する事情は。

**総務課長** 窓口業務が若

手職員も多く、住民サービスが提供できない。職員が一体的に対応できるように、一つの課にした。

その反面、課長の権限が、多くかかってきたというところで、課長の権限をやはり分けたほうがいいと判断し税務課と町民課に分割する事にした。

**佐藤議員** 業務量は、健康福祉課が大変になって

いると捉えている。健康福祉課を分けてもいいと感じるが。

**総務課長** 健康福祉課の

業務量が増えた訳ではない。会計年度任用職員を募集、課長職を1名増員する。

具体的にはまだ決めてないが、工夫をしながら配置については対応していきたい。

### 健康福祉課の分課判断は

**仁科千議員** 健康福祉課

を分課するという判断はなかったのか。

**総務課長** 健康福祉課は、

分課はしないが、今の予定では課長と参事職を置いて課長の負担を軽くして、町民サービスがスムーズにいくように考えている。

**町長** 現実的に町の状況では無理。限られた職員の中で、一人一人の職員が、子育て・高齢者と、いろいろな専門分野をやっているので複数の課に分けることができない。

**仁科千議員** 組織変更される課以外の課は、何も

言わなかったのか。

**総務課長** ほかの課から

も、こうしたい、人が足りない等、いろいろと意見があった。

**仁科千議員** 新設される

まち整備課の内容を尋ねる。

**町長** 町の整備をどう

やって進めていくかが、基本的な考え方。

これが最終形ではなく必要であれば課の設置条例を改正する。



まこもの葉でしめなわ作り

## まち整備課の業務が中途半端

**仁科英議員** 新設される

予定のまち整備課の業務が中途半端になってる気がするが。

**総務課長** まち整備課の業務内容は、JRのバリアフリー化が一番の重点事項になる。

都市計画業務全てを、新しい課に移管するわけではない。

**仁科英議員** 都市計画、

開発行政指導の問題など、課が分かれていてもうまく運用できるのか。

**総務課長** 随時部署間での打ち合わせや、毎週課長会議も開いて、調整をしている。

住民サービスが低下しないと確信している。

**仁科英議員** 一定の時期

に整備再編が必要となれば、実現すべきでは。答弁を。

**総務課長** 新たな課の設置

条例の一部改正もあるかと思う。

4月から実施し、住民サービスが低下しないよう努めていきたい。

## 職員定数条例

### 10人増の説明を

**仁科千議員** 類似団体の

職員数の状況を。

**総務課長** 類似団体数は全国で57団体。

人口1万人あたり全国自治体職員数で見ると、里庄町は、69・06人で6番目に少ない。

一般行政職（教育委員会を除く）では、平均が86・8人、里庄町は約49人で57団体中2番目に少ない。

**仁科千議員** 10人を増やす

説明を。

**総務課長** 課題を整理していく中で、人員が不足しているとの意見があった。

職務内容が多様化、専門性が必要になる業務が増えてきた。定年延長が始まるので、

年齢構成のバランスを図らなければならない。

今のスタッフで頑張れる体制づくりが必要。余裕を持った中で職員も働き、新しいアイデアを出したり、地域のことを吸収するとかが、今後の里庄町民の幸せにつながる。

以上の状況判断から10人とした。一度に10人採用することはない。

**仁科千議員** 20年後を見

据えた場合、定員構成、金額面で、これからの里庄はどうなるのか。

**町長** 今まで定数以下でやってきた。

これから20年後、どのような行政需要があるのか、はつきりしたことは分からない。必要に応じて

職員は採用していく。財政に与える負担は増える、そこら辺はしっかりと検討していきたい。

例えば精神、障害、介護等の相談は専門職が必要なので採用したい。それに対応していくことが住民サービスの充実につながる。

財政的には、当然人件費だから負担がかかるが、行政サービスを提供する上では必要な経費だと考える。



バリアフリー化を待つ里庄駅



町民課窓口

一般会計補正予算

完成見込みは

**仁科英議員**

駐車場と、隣接の民間宅地開発、合わせて開発の総面積は、駐車場数は何台か。

**総務課長**

駐車場と宅地開発合わせて約9000㎡。駐車スペースは約105台。

**仁科英議員**

北に上がる道路整備をすべきではないか、考えて欲しいが。

**総務課長**

詳細については、予算決算委員会で説明する。

**仁科英議員**

いつ頃完成見込みか。

**総務課長**

来年度に完成できればと思っているが流動的。

**仁科英議員**

里見716号線の二期分の補正が計

上されているが、何期まであるのか。

完成はいつか。

**農林建設課長**

四期までで、令和6年度で完成させたい。

**仁科英議員**

完成を繰り返すことは出来ないか。農林建設課長 出来るだけ早くする。

**仁科英議員**

一期、二期、三期とは、どういう分け方か。

**農林建設課長**

土地の買収は100%出来たか。予算がついた額に合わせて発注をしている。

**農林建設課長**

用地は、あと2筆残で努力する。



里庄町役場駐車場予定地(役場南)

常任委員会報告

予算決算委員会

建設福祉委員会

町道里見229号線から東に延伸する町道里見716号線について、新しい交差点に信号機が設置される場合、現存している東小学校の東にある点滅信号を残せないのかという質疑に対し、残すことは難しいという答弁でした。

電気代の値上がりにより、中学校やつばきの丘運動公園の夜間照明など、利用者に費用負担をしてもらう必要があるのではとの意見も出ました。

審査の結果、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

里庄町道路線の廃止、認定の2議案について、農林建設課の案内で現地調査、確認を行いました。路線の起点のずれは、現地調査で問題ないことを確認しました。

また道路を横断する水路に鉄板を敷設しているが幅が狭く危ないので、ポールを設置するなど安全対策を施すよう意見がありました。

審査の結果、全会一致で認定すべきと決しました。

## 一 請 願 (建設福祉委員会)

# 「医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願」は不採択

不採択 3 : 2 継続審査

### 請願主旨

医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める。

### 委員会審査

医療・介護・保育・福祉などの業種だけに限定するのではなく、全ての業種の賃上げを求めなければならない。これらの業種に限って大幅な賃上げは必要ない。日本全体の労働者が賃金ベースが上がらなくて困っている現状がある。

### ここが賛成！

## 国に予算請求するのは当たり前

佐藤耕三議員

一昨年秋の総選挙前に政府は、看護、福祉、保健などのケア労働者の処遇改善を図ることを表明している。

介護職では月額9000円の値上げしても、ほかの業種に比べて所得が少ない。

保育士の確保が必要なので、町は独自の予算をつける。

であるなら、国に対し予算を要求するのが当たり前。



朝霧に包まれた「まこもたけ園場」

## 一 議員発議

### 里庄町議会委員会条例の一部改正

町の課の分課、新設に伴い、常任委員会に於ける、所管の一部変更が必要となり改正したものです。

- 総務文教委員会に「税務課の所管に関する事項」を追加します。
- 建設福祉委員会に「まち整備課の所管に関する事項」を追加し、「国土調査室の所管に関する事項」を抹消します。

# 新年の挨拶



里庄町議会議長  
**岡村 咲津紀**

新年明けましておめでとう  
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、明るく健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より町議会に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

数年来続く新型コロナウイルス感染症をめぐると、状況は依然として油断のならない状況が続いています。そうした中でも徐々に回復の兆しが見えつつありますが、コロナ禍前の状態に戻りつつあることも実感いたし

ております。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻も終わりが見え

ず、原油などの資源価格が高騰し、電気料金の値上げ、食料品や日用品などの物価高など不測の事態が次々と発生し、私たちの日常生活や地域経済に大きな影響を与えています。一日も早く平和が訪れ、活気ある日常を取り戻すことが望まれます。

里庄町では、高齢化問題、子育て支援など多くの課題があります。私たち町議会は、議会での議論をより活発化させ、町

民の皆様の声が各種施策に反映されるよう提言する機関として二元代表制の一翼を担ってまいります。皆様の幸せな生活を

守るため、議員としての役割と責任を自覚し、全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が皆様にとって、幸運き年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



後列左から 眞野博文 小野光章 仁科千鶴子 藤井典幸 小野光三  
前列左から 高田卓司 平野敏弘 岡村咲津紀 仁科英磨 佐藤耕三

# 研修



## 議員研修会

2023年1月26日(木) (リモートによる研修)

### 「未来の子どもたちのために本当に必要な政策とは」

～子どもの育成を支援する社会の実現を目指して～

講師／山口 慎太郎氏〈東京大学経済学研究科 教授〉

政府の「子ども家庭庁」創設に伴い、各自治体はあらゆる部署が子どもの視点にたつて、子供にとって必要な政策をさらに強化推進し「子ども真ん中社会」の実現へ取り組んでいくことになることを念頭に、地方自治体が行う子ども政策や、今後の方向性についての講話がありました。

我が町での方向性はどうかを含め、今後の子どもに対する町の施策について、町も、議会もしっかりと取り組んでいかなければならないと感じた研修となりました。



## 広報委員会研修会

2023年1月13日(金) (リモートによる研修)

### 「紙とネットのハイブリッド広報を強化し議会をもっと身近に！」

講師／吉村 潔氏〈広報アナリスト〉

久しぶりの広報研修を受講し感じたのは、最近ではネットや携帯を利用し、住民皆さんの意見や思いを情報収集、また議会での活動を紹介する等の手法を取り入れている状況に関心したところです。里庄町議会でも、環境が整えば実施したいと思ったところです。

現状に於いては紙面での広報になりますが、「解りやすく」「読んで頂ける」広報紙になるよう、取り組まなければならないと強く感じたところです。



# 賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

賛否表

議案名	議員名	平野敏弘	高田卓司	小野光三	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	藤井典幸	議決結果
定例会 12月	議案第63号	里庄町課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第64号	里庄町議会議員及び里庄町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第65号	里庄町職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第66号	里庄町職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第67号	里庄町営住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第68号	令和4年度里庄町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第69号	令和4年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第70号	令和4年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第71号	令和4年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第72号	令和4年度里庄町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第73号	令和4年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第74号	里庄町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第75号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第76号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	請願第2号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択
発議第2号	里庄町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
臨時会 1月	議案第1号	令和4年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)



里庄町防災訓練(殿迫分館 自主防災会)

## 一般会計補正予算

伴走型相談支援及び  
出産・子育て応援給付  
金の一体的実施事業

1179万円

令和4年度事業開始日以降に、妊娠届を提出後5万円、出生届を提出後に5万円給付されます。令和4年4月1日から事業開始日より前に出生届を出した人は10万円給付されます。

第1回

臨時会

令和5年1月26日、第1回臨時会が開会されました。議案は、令和4年度一般会計補正予算1件が上程され、全会一致で可決されました。

## 4人の議員が登壇して質問!

**平野 敏弘 議員**..... 12P

- ① 子育て支援
- ② 町道229号線の工事

**佐藤 耕三 議員**..... 13P

- ① 国民健康保険税、子どもにかかる均等割り廃止を
- ② 後期高齢者への医療費助成制度を
- ③ ため池の管理と埋め立ての手順

**高田 卓司 議員**..... 14P

- ① 住宅開発と道路

**仁科 英磨 議員**..... 15P

- ① イノシシ駆除の抜本的強化
- ② 新ごみ焼却施設建設事業(7回目)
- ③ 科学少年少女1名に対する進学祝い金  
寄付金30万円の受け入れ

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。



初日の出

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます  
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/satosho/pg/index.html>

里庄町  
HP

町議会

里庄町  
議会会議録

会議録  
閲覧・検索



12月定例会

# 一般 質問

# 町政を問う

# 子育て支援について

町長／先進的事例を研究する



平野 敏弘 議員

## 問

子育て支援について、2019年の出生率は全国が1.36で、奈義町は全国の倍以上の2.37である。里庄町の出生率はいくらか。

## 副町長

里庄町の合計特殊出生率は1.44である。

## 問

町の子育て支援策の予算は。

## 副町長

令和4年は、健康福祉課関係で小児医療費助成事業が約6200万円、児童発達支援事業が約9170万円。地域子育て支援拠点事業が900万円。産後ケア事業が25万円。不妊治療助成金60万円。合計

## 教委事務局長

1億6000万円あまり。東・西放課後児童クラブの運営

負担金が2927万円。東・西幼稚園の預かり保育は支援員の賃金や事業運営費で1003万5000円。

## 問

奈義町の取り組みを町長はどのように感じているのか。

## 町長

奈義町、里庄町も含め岡山県内全国の市町村が子育て支援策に取り組んでおり比較は難しい。

## 問

幼稚園と小学校の児童・生徒の数は。

## 教委事務局長

東幼稚園が35人、西幼稚園は49人。東小学校が301人、西小学校は360人。

## 問

奈義町に視察に行き政策に生かしてみているかどうか。

## 町長

事例を研究し、取り入れられるものは取り入れていきたい。

# 229号線は必要か

農林建設課長／費用に見合う効果はある

## 問

町道229号線の工事で、以前に里見川の道路を広げるか、もしくは待避所を造るべきと質問をしたが、その後どうなっているのか。

## 農林建設課長

県に護岸整備を要望し、順次整備をしている。

町道里見トク1号線の拡幅は、里見716号線の供用開始に向けて、整備をする予定。

## 問

229号線の計画は、国道2号線の渋滞の迂回路として建設すると説明があった。

国が現在、干瓜や川南で玉島笠岡道路を建設し、令和7年に完成ということである。

229号線の工事はやらなくてもいいのではなにかという話もちらほら聞かうか。

## 農林建設課長

玉島笠岡道路の完成により、国道2号の車両は減少すると思うが、地域内を移動する町道里見229号線の車両等交通量はあまり減少しないと考える。

町道里見716号線の整備は、町道里見229号線と県道里庄地頭上線のT字との交差点付近での、渋滞緩和や歩道整備に伴う児童・生徒等の安全性の向上や、里庄東小学校南東の押しボタン式信号のある交差点の危険を解消することを目的としている。

交通量の増減があったとしても、費用に見合う効果は十分にある。

佐藤 耕三 議員



## 均等割り廃止を

町民課長／考えていない

**問** 国民健康保険に加入している世帯と被保険者の数は、

**町民課長** 301世帯、被保険者数は1966人。

**問** 子どもの均等割を高校卒業まで廃止する場合、必要な財源は。

**町民課長** 令和4年度では136万円。令和5年度、268万円が必要。

**問** 子どもの均等割廃止しているところが増えているが、里庄町で廃止する考えは。

**町民課長** 町として考えていない。

**問** 保険料を払う子と払わない子がいるということになり、不公平ではないか。

**町民課長** 保険料や保険料の計算方法が違うので、均等割のあるなしの違いは致し方ない。

## 独自の医療費助成制度を

町民課長／設ける考えはない

**問** 10月から後期高齢者の医療費窓口負担が一定の所得があれば2割になった。一定の所得とはいくら以上で町内での対象者数は。

**町民課長** 所得金額が1人の場合200万円以上、2人以上の場合320万円以上。対象者は409人。

**問** 一人当たりの医療費は若い人になれば軽減措置がなくなれば4倍にもなるが、どう考えるか。

**町民課長** 高齢になれば病院にかかる機会も多い。ある程度の自己負担はお願いしなければならない。

**問** 町独自の医療費助成制度を設けては。

**町民課長** 後期高齢者医療制度では、既に所得に応じて限度額が設定されている。町独自の制度を設ける考えはない。

**問** 収入により税金が高くなることは理解できるが、給付は一律であるべきという声もある。給付についてどのように考えるか。

**町長** 全ての制度について皆が納得すればいいが、不公平感を感じる人もいると思う。不公平感をなくす制度設計をつくっていく必要があるし、そういう声があれば是正をしていく必要があるのではないかと感じる。

## ため池埋め立ての手順は

農林建設課長／受益者の同意後廃止

**問** 高齢化が進むと、ため池や水路の管理は地元や水利組合だけではできなくなるが、町はどう考えるか。

**農林建設課長** 池や水路の日常管理を全て町が行うことは対応できない。受益者や地域で検討してもらいたい。

**問** ため池を埋め立てる際の手順は。

**農林建設課長** 受益地範囲を確認後、受益者を調べ廃止の同意後用途廃止する。

その後、雨水流域が大きく下流に浸水区域等ある場合は、調整池として残す。雨水流域が小さく堤防や洪水吐が危険な状態の池は、堤防等の改修は行わず排水処理のみで埋め立てる。

**問** 水利権者の了承を得ず池を埋めている池があるがなぜか。

**農林建設課長** その池は近年稲作のために使用されていなかった。水利関係者が不明だったので、受益地から漏れていた。残土が出るときに埋めるが、最終的に防火用水として残す予定。

**問** 今後高齢化、荒廃地が進む中、町内の土地をどのように管理していくのか。

**町長** 災害対策や農業基本は所有者が責任を持つて管理する必要がある。

## 開発団地内の道路寄付は

農林建設課長／受け取らない場合もある



高田 卓司 議員

里庄町は、立地条件が良いので「住みよい、便利が良い」ということで、毎年住宅開発が何件かさされている。

今後開発が進むと思われる。

住宅内に道路を造るが、いずれは町道として受け取らなければならぬ。そのほとんどが行き止まりの道である。

**問** 町道として受け取ると行き止まりでは将来困る問題が起きると思われるが、行き止まりにならないように指導監督するべきでは。

**農林建設課長**

町も、通り抜けできない行き止まりの道路は好ましくないと考えている。開発時には通り抜けできる道路計画にしようよう開発業者と協議している。

開発規模や地形的なこともあり、結果として行き止まり道路の造成計画になることもある。3000㎡未満の開発で、町が言える範囲が限られてると言うことも理解してほしい。

**問**

町が受け取って困らないようにするために法整備等するべきではないか。

協議の時に、町に協力する業者には資材の提供なども考えてはどうか。

**農林建設課長**

現時点での規制は関係法令にもなく、強制的に駄目ということはできず、今の時点では難しい。

開発時の協議中で、協力的な業者に対しては寄付を受け、非協力的な業者に対しては寄付の申し出があっても受け取れないところはあると思う。

## 川の管理道確保は

町長／調査研究をする

今現在、川は何らかの改修が行われている。コンクリートも50〜60年寿命と言われており維持管理に管理道が必要になるが全く管理道の無いところが多い。

**問**

管理道の無い所が開発される時、確保する必要があると思うが。

**農林建設課長**

川に隣接して開発されて、結果的に管理道がなくなっているところが確かにある。管理道の必要性については、町も十分認識している。

その後は管理道確保する形で進めている。

今後は町としてできる協力をし、管理道の確保をしたい。

**問**

できるだけではだめだ。言うことを聞かない業者がいる。民地で家を建てられたらどうする。

今のうちに法整備などをするべきでは。

町長はどう考える。

**町長**

町道の受け取りについては、昔は指導要項もなかった。今は里庄町開発事業の調整に関する指導要項に基づいてやっている。

**問**

話をしても聞かない業者もいる。川の管理は行政の責任である。

**町長**

開発区の道路の、将来的な問題、そして水路の管理について、調査研究を進めて、適正な管理ができるよう研究していきたい。

仁科 英磨 議員



# イノシシ対策、早く徹底的に

町長／考えられる方策をしっかりとっていく

**問**

最近、町内の至るところでイノシシが出没し、被害も激増していると聞か。

町はどう把握しているか。

**参 農林建設課**

捕獲頭数は、令和元年36頭（8か月）、2年68頭（9か月）、3年112頭（12か月）、4年105頭（11か月）で、被害も増加している。

**問**

全国的にも、平成30年90万頭、令和2年135万頭と、大爆発している。

しかも、山間部から里の方に広がっている。町の対策は。

**参 農林建設課**

①猟友会と連携し、被害地区内に集中的にわなを仕掛ける、②狩猟免許の取得や費用の助成、③農地への防護柵の設置に係る補助などを行っている。

**問**

それだけでは全く不十分だった

ことが、今分かった。

住民の安全・安心の確保からも、農業政策から

も、考え方を換え、新たな対策を打たなければ。

これはもう社会インフラの整備。経費は全額公費で賄うという考えに立つて行うべきでは。

**参 農林建設課**

これまでの対策は、十分効果があつた。

荒廃農地が隠れ場所になったり、放置された農作物がイノシシを呼び寄せるといった現状もある。

まずは、所有する農地を自分で守るといふ基本的な対策も何より重要。全額公費での対応は、今は考えていない。

**問**

土地の所有者の責任だ等、とてもない話だ。

効果的な対策を吟味するため、専門家を入れて、基本的な検討の場を設けるべきでは。

**参 農林建設課**

県と連携して、IOTカメラを

活用した箱わなの取組を進めている。

**問**

もっと抜本的な対策を議論する場を設ける意味で質問している。

業者委託も考えるべき。制度上困難。

**参 農林建設課**

**問**

大きな箱わな等を仕掛けて、一斉に殺処分する、毒物を使う等はどうか。

**参 農林建設課**

一斉に捕獲するのは、難しい。毒物などを使用した猟は、禁止されている。

**問**

捕まえた後は、薬物も使える。どうすればできるか考えて欲しい。

捕獲補助金の大幅な増額、及び免許手数料の全額補助は。

**参 農林建設課**

成獣1頭の捕獲に、非狩猟期2万4000円、狩猟期2万円出している。

**問**

幼獣や狩猟期は安いのは、おかしい。

また、町費は1万3000円を倍増しては。

現在の単価でいきたい。

**参 農林建設課**

**問**

防護柵補助も非常に小さい。全額補助にしては。

**参 農林建設課**

資材補助の単価見直しを、来年度に検討したい。

**問**

資材だけでなく、工事費や人件費、運搬費も、全部町が持つ気持ちでやってほしい。

**町長**

そういう気持ちは今持っていない。

**問**

やりませんで済む話ではないのか、どうしたらいいのか、専門家を集めて徹底的に研究しては。

**町長**

有害鳥獣の被害防止は、これからはいろいろな人と相談しながら研究したい。

**問**

今は、イノシシに焦点を絞って、早く徹底的に手を打つ方策を考えるべき。

全員が取り組めるような体制をつくる、ふるさと納税もどんと上がっているのだから、補助金もどんと出して。

**町長**

補助額を2倍にすれば捕獲頭数が爆発的に増えるかは、エビデンスがない。考えられる方策をしっかりとっていく。

**問**

その他の質問  
Q 平成11年のダイオキシン測定値が出てくるまでに1年半かかったのは、議会の軽視では。A その認識はない。

**問**

Q 科学少年少女への進学祝い金寄附金30万円（毎年1人に2万円と事務費の10年分）の受入れに、何故町長は反対なのか。  
A 公平公正に1人を選ぶことができないため。

里庄町文化協会  
ちぎり絵部

文化協会ちぎり絵部は講師の自宅、中央公民館図書館の三方所のグループで構成しております。コロナのない時は、バスを貸し切りがんび舎(米子)に紙を買いにいのですが、旅行を兼ねて行っていました。今はコロナ禍で行くことが出来ず残念です。各自各々のデザインを思い浮かんでいる作品に思いを寄せて、胸をふくらませてバスの中は、なごやかな雰囲気です。



二月の合同展、文化祭十一月にはちぎり絵展示があります。展示中は、文化協会の書道部の人々の協力のおかげで生花を飾ってくださいます。会場は一段と華やかになります。この展示のための作品作りは、苦惱しながらも、出来上がった作品には喜びがこみあがってきます。



## 《第111号》

令和5年1月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会  
〒719-0398  
岡山県浅口郡里庄町  
TEL(0865)64-7217  
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

## ●あとかぎ

新年あけましておめでとうございます。癸(みずのと)卯は努力が実を結び成長し飛躍する年といわれています。

昨年のウクライナ危機・物価の高騰など乗り越え、今年一年が皆様にとって良い一年になることを願っています。

これからも親しまれる議会だよりの発行に努めてまいります。

(佐藤)

編集委員

委員長:小野光章 副委員長:藤井典幸 委員:仁科千鶴子 委員:佐藤耕三



令和5年3月定例会は、3月3日(金)から始まる予定です。